



R3年11月発行

し え ん 便 り



みくまの支援学校支援部

本校ではコーディネーターが集まり、研修を行っています。研修ではこれまで、コーディネーター業務について、教育相談時のパンフレット等の活用の仕方、ケースカンファレンス、スクールカウンセラーによる研修などを行いました。今回はその中から研修の内容をご紹介します。



教育相談の窓から

子どもとの接し方に悩んでいるあるお母さんとの出会いを紹介します。その方は、父親と子どもの3人で学校に足を運んでくれました。初回の相談では、子どもは、担当の先生にたくさん褒められてもあまり嬉しそうな表情をしません。また、集中して課題に取り組む姿やたくさん褒められている子どもの姿を見ても保護者の表情は固いままでした。違和感を覚えた私たち担当者は、子どもの発した言葉や見せる行動から「母親との関係が上手くいっていないのでは？」と推測し、初回の相談で笑顔を見せたトランポリンなどの粗大運動遊びやみんなで行うゲームを取り組みにし、2回目の教育相談を実施しました。楽しそうに笑いながらトランポリンを跳ぶ様子に、母親にも笑顔が見られ、自分からマットにあがり子どもに近づく様子やゲームで早くくじを引くよう子どもが母親の手を取るやり取りも見られるようになりました。相談の終わりに、子どもが楽しく遊んでいる姿を見て「楽しそうにしやるやろ」「大丈夫やから」と父親が母親にいていねいに説明している姿を見て、今回の相談は、「この親子にとって楽しい時間を共有できた有意義な時間になったかな」という嬉しい気持ちになりました。



「共感」するための第一歩

「動機付け面接法」という面接法について学ぶ機会がありました。それは、協調的なスタイルの会話によって行われるものだそうです。この面接法には、単純と複雑の2種類の聞き返しのやり方が紹介されています。単純な聞き返しとは、相手の言ったことをそのまま返す聞き返しのことです。そして、複雑な聞き返しとは、相手の言ったことに何らかの意味を加えたり、一部を強調したり、まだ話していないがこうなるだろうと推測しながら話す聞き返しです。聞き返しは、質問と違って相手の防御反応を避けることができ、面談者の間違っ了解釈に対する修正もその場で得られることから共感することにもつながります。加えて、聞き返しを通して、自分では気付かなかった感情や考えに来談者自身が気付き、「だったら、こうやってみよう。」「これならできそう。」という行動変容につなげていけるのだそうです。聞き返しは、巡回相談や教育相談にも役立ちそうだなと思いました。



特別支援コーディネーター等連絡協議会開催のお知らせ

延期になっていました特別支援コーディネーター等連絡協議会を下記の通り開催いたします。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえ、オンデマンド配信により開催します。関係施設の皆様には封書で連絡させていただきます。どうかよろしく願いいたします。

開催日時

令和3年12月20日(月)～令和3年12月27日(月) 各施設・個人単位での視聴期間

令和3年12月27日(月)13:00より 本校会議室での視聴

講演会 テーマ「熱い心と冷静な頭で子どもを見つめよう」

自立支援事業 第2なぎの木園「ステップ」指導員 河原 京子 氏

本校教諭 浦木 隆



動画作成
進んでいます